

2025 年度

東京大学大学院工学系研究科

都市工学専攻入試案内

Entrance Examination Guide for 2025 Matriculation,
Department of Urban Engineering
Graduate School of Engineering, the University of Tokyo

日本国籍を持たない者は、このほかに英語特別プログラムでの入学が可能な場合がある。英語特別プログラムの受験資格があるものは英語特別プログラムの受験を推奨する。受験資格、および詳細については、以下の Web ページを参照すること。

<https://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/english/admission/>

<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/en/soe/admission/special#tomo1>

Applicants who do not hold Japanese nationality may also be admitted through the Special English Graduate Program. Eligible candidates are recommended to apply to the Special English Graduate Program instead. Please refer to the following Web page for details and eligibility requirements:

<https://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/english/admission/>

<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/en/soe/admission/special#tomo1>

・ 都市工学専攻修士課程入学志望者案内	1
・ 都市工学専攻博士後期課程入学志望者案内	4
・ 入学試験日程, 必要な環境, 携行品	8
・ 【参考】都市工学専攻受験申告票	9
・ 東京大学大学院工学系研究科入学試験受験者心得	11

Web

連絡先

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻事務室

〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1

電話: 03-5841-6216

Web サイト: <https://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/>

2025 年度東京大学大学院工学系研究科
都市工学専攻修士課程(都市環境工学・都市計画専攻分野)
入学志望者案内

- この案内は、**2025 年度東京大学大学院工学系研究科修士課程学生募集要項を補うものである。**
- 都市工学専攻修士課程には、このほかに都市持続再生学コース(社会人向け東大まちづくり大学院)があり、その入学志望者案内は別途配布している。

都市工学専攻 アドミッションポリシー

教育研究上の目的:

本専攻は、都市工学に関する体系的な知識とその応用技術を身に付け、都市計画、都市デザイン、都市交通計画、都市解析、環境デザイン、都市環境工学、都市水システム、国際都市環境、都市マネジメントなどに関する専門家として活躍できる人材を育成する。また、地域の気候風土・社会文化の多様性を踏まえ、グローバルな視点から国土及び地域社会の健全で持続可能な発展に貢献することを目的とする。

求める学生像:

- 1)本専攻の教育研究上の目的に沿う人材育成に応える人
- 2)多様な文化を理解尊重し人類社会に対して国際的に貢献することを目指す人

1. 定員及び出願資格

大学院修士課程(都市環境工学・都市計画専攻分野)の募集人員は**25名**である。東京大学大学院工学系研究科修士課程学生募集要項(以下「募集要項」という)第**1**項の出願資格を有する者であれば、その専門及び資格取得年次等によらず入学を志望することができる。

2. 専攻分野及び指導教員

都市環境工学と都市計画の**2**つの専攻分野があるので、受験申告票(書式は都市工学専攻 Web サイトからダウンロードすること)の専攻分野欄のうち志望する専攻分野にチェックを入れ、出願時に pdf ファイルのアップロードにより提出すること。なお、専攻分野に応じて、試験科目・問題の選択範囲が限定されるので注意すること。

本専攻の指導教員及び本専攻における教育・研究に協力する教員とその研究領域(2024 年 4 月現在)は本案内 7 頁別表 1・別表 2 のとおりである。

3. 入学時期

本専攻では、2025 年 4 月入学のほか、2024 年 10 月入学を認めている。合格の際、早期入学を希望する者は、受験申告票の「2024 年 10 月入学」にチェックを入れること。また、入学願書の所定の箇所にも同様に記入すること。

4. 選抜方法

選抜は入学試験によって行う。

5. 入学試験科目

下記の外国語及び筆記試験(専門科目)による一次選抜の後、口述試験による二次選抜を行う。試験日程と受験者が用意すべき環境、携行品は本案内 8 頁のとおりである。

(イ) 外国語及び筆記試験(専門科目)

試験科目 (配点)	摘 要		
(A) 外国語 (100 点)	<p>事前提出された TOEFL iBT 又は TOEFL iBT Home Edition の Test Date Scores に基づく(My Best Scores は使用しない)。スコアは受験日 (Test Date) が 2022 年 9 月以降 2024 年 7 月 15 日までのものを有効とし、スコアの提出期限は 2024 年 8 月 2 日までとする。提出方法等は工学系研究科の通知に従うこと。</p> <p>点数は、TOEFL iBT 又は TOEFL iBT Home Edition のスコア S から以下の式で算出する。</p> $\text{点数} = \min(\max((S-45) \times 2, 0), 100)$		
(B) 都市工学専門 (500 点)	<p>次の分野から出題される 15 問のうち 5 問を選び、解答すること。ただし、専攻分野として都市環境工学を志望する者は①～⑦のうちから 3 問以上を、都市計画を志望する者は⑧～⑮のうちから 3 問以上を選択しなければならない。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><都市環境工学></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 上水道学・下水道学 ② 水理学 ③ 水環境学 ④ 環境微生物工学 ⑤ 環境化学・反応論 ⑥ 地球環境工学 ⑦ 廃棄物管理・資源循環 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><都市計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ⑧ 都市計画 ⑨ 都市デザイン ⑩ 都市住宅学 ⑪ 都市防災 ⑫ 都市解析 ⑬ 都市交通計画 ⑭ 地域計画 ⑮ 緑地計画・環境デザイン </td> </tr> </table>	<p><都市環境工学></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 上水道学・下水道学 ② 水理学 ③ 水環境学 ④ 環境微生物工学 ⑤ 環境化学・反応論 ⑥ 地球環境工学 ⑦ 廃棄物管理・資源循環 	<p><都市計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ⑧ 都市計画 ⑨ 都市デザイン ⑩ 都市住宅学 ⑪ 都市防災 ⑫ 都市解析 ⑬ 都市交通計画 ⑭ 地域計画 ⑮ 緑地計画・環境デザイン
<p><都市環境工学></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 上水道学・下水道学 ② 水理学 ③ 水環境学 ④ 環境微生物工学 ⑤ 環境化学・反応論 ⑥ 地球環境工学 ⑦ 廃棄物管理・資源循環 	<p><都市計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ⑧ 都市計画 ⑨ 都市デザイン ⑩ 都市住宅学 ⑪ 都市防災 ⑫ 都市解析 ⑬ 都市交通計画 ⑭ 地域計画 ⑮ 緑地計画・環境デザイン 		
(C) 計画・設計・論文 (200 点)	<p>専攻分野として都市環境工学を志望する者は C-1 を、都市計画を志望する者は C-2, C-3 のうち1科目を選択すること。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><都市環境工学></p> <p>C-1 計画・設計・論文</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><都市計画></p> <p>C-2 計画・設計</p> <p>C-3 論文</p> </td> </tr> </table>	<p><都市環境工学></p> <p>C-1 計画・設計・論文</p>	<p><都市計画></p> <p>C-2 計画・設計</p> <p>C-3 論文</p>
<p><都市環境工学></p> <p>C-1 計画・設計・論文</p>	<p><都市計画></p> <p>C-2 計画・設計</p> <p>C-3 論文</p>		

注) (B), (C)について英語による受験を希望する者は、必ず入学出願締め切りまでに履歴書(書式自由)を添えて以下の E-mail メールアドレス宛に申請すること。以下の E-mail アドレスからのメールの返信をもって申請受領とする。日本語での解答が困難であると判断された場合に限り認められることがある。

For (B) and (C), applicants who wish to take the examination in English must submit their application along with a resume (free format) to the following e-mail address by the application deadline. Applicants will be contacted from the address below when the application is received. Taking the examination in English will only be accepted if it is judged that it would be difficult for the applicant to answer the questions in Japanese.

Email: exam2025@ue.t.u-tokyo.ac.jp

(ロ) 口述試験

一次選抜合格者に対し、志望する専攻分野について、Zoom 等を用いたオンラインでの双方向ビデオ通信方式で行う。

6. 過去の入学試験問題の公開

過去の入学試験問題は、以下の本専攻 Web サイトで公開している。

<https://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/applicants/graduate/exam/>

7. 大学院説明会

大学院説明会の日時・形式・参加申込方法等については以下の本専攻 Web サイトを参照すること。

<https://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/applicants/graduate/orientation/>

2025 年度東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻博士後期課程 入学志望者案内

・この案内は、2025 年度東京大学大学院工学系研究科博士後期課程学生募集要項を補うものである。

都市工学専攻 アドミッションポリシー

教育研究上の目的:

本専攻は、都市工学に関する体系的な知識とその応用技術を身に付け、都市計画、都市デザイン、都市交通計画、都市解析、環境デザイン、都市環境工学、都市水システム、国際都市環境、都市マネジメントなどに関する専門家として活躍できる人材を育成する。また、地域の気候風土・社会文化の多様性を踏まえ、グローバルな視点から国土及び地域社会の健全で持続可能な発展に貢献することを目的とする。

求める学生像:

- 1) 本専攻の教育研究上の目的に沿う人材育成に応える人
- 2) 多様な文化を理解尊重し人類社会に対して国際的に貢献することを目指す人

1. 定員及び出願資格

大学院博士後期課程の募集人員は 11 名である。東京大学大学院工学系研究科博士後期課程学生募集要項(以下「募集要項」という)第 1 項の出願資格を有する者であれば、その専門及び資格取得年次等によらず入学を志望することができる。

2. 専攻分野及び指導教員

都市環境工学と都市計画の 2 つの専攻分野があるので、受験申告票(書式は都市工学専攻 Web サイトからダウンロードすること)の専攻分野欄のうち志望する専攻分野にチェックを入れ、出願時に pdf ファイルのアップロードにより提出すること。

博士後期課程入学者は、指導教員の指導を受けて研究を行うので、本案内 7 頁別表 1 等を参照して、受験申告票の所定欄に希望する指導教員名(複数でもよい)を記入すること。出願前に希望指導教員と研究内容について相談することを推奨する。

3. 入学時期

本専攻では、2025 年 4 月入学のほか、2024 年 10 月入学を認めている。合格の際、早期入学を希望する者は、受験申告票の「2024 年 10 月入学」にチェックを入れること。また、入学願書の所定の箇所にも同様に記入すること。

ただし、2024 年 10 月入学の受け入れ数には限度があり、希望しても 2025 年 4 月入学に回されることがある。

4. 選抜方法

第 1 次試験(第 5 項参照)と第 2 次試験(第 6 項参照)による。なお、2024 年 9 月 30 日までに入学資格を満たしている(見込みを含む)志望者に対しては、入学を希望する時期にかかわらず、これらを併せて実施する。

注) 本専攻では、出願日程 B による選抜は実施しない。

5. 第1次試験

第1次試験は、下記の外国語及び筆記試験(専門科目)(下記(イ)の通り省略される場合がある)、研究業績・研究計画、口述試験により行う。試験日程と受験者が用意すべき環境、携行品は本案内8頁のとおりである。なお、従前「研究業績を有する」社会人志望者に対して行っていた社会人特別選抜試験は実施しない。

(イ) 外国語及び筆記試験(専門科目)

試験科目	摘 要																		
(A) 外国語 (本学の大学院修士課程・専門職学位課程の修了者、または修了見込みの者は省略)	事前提出された TOEFL iBT 又は TOEFL iBT Home Edition の Test Date Scores に基づく(My Best Scores は使用しない)。スコアは受験日(Test Date)が2022年9月以降2024年7月15日までのものを有効とし、スコアの提出期限は2024年8月2日までとする。提出方法等は工学系研究科の通知に従うこと。																		
(B) 都市工学専門 (本学大学院都市工学専攻修士課程修了者、または修了見込みの者は省略)	次の分野から出題される15問のうち2問を選び、解答すること。ただし、専攻分野として都市環境工学を志望する者は①～⑦のうちから2問を、都市計画を志望する者は⑧～⑮のうちから2問を選択しなければならない。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;"><都市環境工学></th> <th style="text-align: center;"><都市計画></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 上水道学・下水道学</td> <td>⑧ 都市計画</td> </tr> <tr> <td>② 水理学</td> <td>⑨ 都市デザイン</td> </tr> <tr> <td>③ 水環境学</td> <td>⑩ 都市住宅学</td> </tr> <tr> <td>④ 環境微生物工学</td> <td>⑪ 都市防災</td> </tr> <tr> <td>⑤ 環境化学・反応論</td> <td>⑫ 都市解析</td> </tr> <tr> <td>⑥ 地球環境工学</td> <td>⑬ 都市交通計画</td> </tr> <tr> <td>⑦ 廃棄物管理・資源循環</td> <td>⑭ 地域計画</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑮ 緑地計画・環境デザイン</td> </tr> </tbody> </table>	<都市環境工学>	<都市計画>	① 上水道学・下水道学	⑧ 都市計画	② 水理学	⑨ 都市デザイン	③ 水環境学	⑩ 都市住宅学	④ 環境微生物工学	⑪ 都市防災	⑤ 環境化学・反応論	⑫ 都市解析	⑥ 地球環境工学	⑬ 都市交通計画	⑦ 廃棄物管理・資源循環	⑭ 地域計画		⑮ 緑地計画・環境デザイン
<都市環境工学>	<都市計画>																		
① 上水道学・下水道学	⑧ 都市計画																		
② 水理学	⑨ 都市デザイン																		
③ 水環境学	⑩ 都市住宅学																		
④ 環境微生物工学	⑪ 都市防災																		
⑤ 環境化学・反応論	⑫ 都市解析																		
⑥ 地球環境工学	⑬ 都市交通計画																		
⑦ 廃棄物管理・資源循環	⑭ 地域計画																		
	⑮ 緑地計画・環境デザイン																		

注) (B)について英語による受験を希望する者は、必ず入学出願締め切りまでに履歴書(書式自由)を添えて以下のE-mailメールアドレス宛に申請すること。以下のE-mailアドレスからのメールの返信をもって申請受領とする。日本語での解答が困難であると判断された場合に限り認められることがある。

For (B), applicants who wish to take the examination in English must submit their application along with a resume (free format) to the following e-mail address by the application deadline. Applicants will be contacted from the address below when the application is received. Taking the examination in English will only be accepted if it is judged that it would be difficult for the applicant to answer the questions in Japanese.

Email: exam2025@ue.t.u-tokyo.ac.jp

(ロ) 研究業績・研究計画

修士論文の内容及び博士後期課程での研究計画について記述した研究業績書・研究計画書を、出願時に受験申告票と同じ文書にまとめて提出し、それに基づいて評価する。詳細は受験申告票の下部を参照のこと。

(ハ) 口述試験

志望専攻分野について、博士後期課程における研究計画等に関する口述試験を Zoom 等を用いたオンラインでの双方向ビデオ通信方式で行う。

6. 第2次試験

第2次試験は、修士論文またはこれに代わるものに基づき、口述試験により行う。

(イ) 2024年9月30日までに入学資格を満たしている(見込みを含む)志望者

第1次試験(ハ)の口述試験と併せて行う。該当者は、修士論文を2024年8月15日(木)16時(必着)までに提出すること。提出方法は受験者に後日通知する。なお、修士課程において修士論文を課していない大学院を修了した者は、修士論文に代わるものを提出すること。

(ロ) 上記以外の志望者

第2次試験の期日は2025年1月下旬～2月上旬であり、詳細は本学工学系研究科事務部より第1次試験合格者に通知する。

7. 過去の入学試験問題の公開

過去の入学試験問題は、以下の本専攻 Web サイトで公開している。

<https://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/applicants/graduate/exam/>

8. 大学院説明会

大学院説明会の日時・形式・参加申込方法等については以下の本専攻 Web サイトを参照すること。

<https://www.due.t.u-tokyo.ac.jp/applicants/graduate/orientation/>

別表 1: 都市工学専攻の指導教員とその研究領域(2024年4月現在)

専攻分野	担当教員	研究領域
都市環境工学	小熊 久美子 教授	浄水技術, 微生物制御, 水供給システム
	片山 浩之 教授	水質衛生学, 上下水道, 環境微生物動態
	栗栖 太 教授 ^[1]	微量汚染物質, 環境微生物工学, 生物学的浄水・廃水処理
	滝沢 智 教授	都市水システム, 浄水技術, 途上国の水環境管理
	中島 典之 教授 ^[2]	生態毒性評価, 環境水質化学, 底質汚染管理
	福士 謙介 教授 ^[3]	有害物質管理, リスク管理, 広域水環境管理
	藤田 壮 教授	環境システム, 環境評価, 都市産業共生
	北島 正章 特任教授 ^[1]	環境ウイルス学, 下水疫学, 微生物リスク管理
	風間 しのぶ 准教授 ^[4]	環境ウイルス学, 水環境工学, 環境衛生工学
	春日 郁朗 准教授 ^[5]	生物学的浄水・廃水処理, 環境微生物工学, 水道水質管理
	栗栖 聖 准教授	環境低負荷型地域管理, 環境心理学, 住民選好把握
	飛野 智宏 准教授	生物学的下水・廃水処理, 環境微生物工学, 下水道
	中谷 隼 准教授	ライフサイクル評価, 物質フロー分析, リサイクルシステム
	橋本 崇史 准教授 ^[1]	浄水技術, 水供給システム
加藤 裕之 特任准教授	下水道システム, 水環境政策・ビジネス, 下水道資源利用	
都市計画	浅見 泰司 教授	居住システム, 都市住宅学, 空間情報解析
	加藤 孝明 教授 ^[6]	地域安全システム学, 防災・復興まちづくり論, 計画支援技術
	小泉 秀樹 教授	コミュニティ再生論, まちづくり論, 住環境計画論
	中島 直人 教授	都市デザイン, 都市論, 都市計画史
	廣井 悠 教授 ^[5]	都市防災, リスク工学
	蕭 耕偉郎 准教授	アジア都市空間論, ジェントリフィケーション論, 参加型まちづくり
	瀬田 史彦 准教授	国土・都市計画, 地域開発, グローバル都市論
	高見 淳史 准教授	都市交通計画, 交通と土地利用の連携
	樋野 公宏 准教授	居住セキュリティ, 都市居住・住環境
	真鍋 陸太郎 准教授	まちづくりと情報, 都市計画
	村山 顕人 准教授	都市計画, まちづくり, 計画策定技法
	パラディ ジアンカルロス 講師	都市交通計画, 活動・交通行動モデル
	飯田 晶子 特任講師	緑地環境計画, ランドスケープデザイン
	中島 弘貴 特任講師	都市計画, まちづくり, リジェネラティブデザイン
西 颯人 特任講師 ^[7]	空間統計解析, 住宅・不動産市場分析	
山崎 嵩拓 特任講師 ^[8]	ランドスケープ計画	

別表 2: 都市工学専攻における教育・研究に協力する教員とその研究領域(2024年4月現在)

専攻分野	担当教員	研究領域
都市環境工学	佐藤 弘泰 教授 ^[4]	下水・廃水処理, 環境分析化学, 環境微生物工学
	珠坪 一晃 教授 ^[9]	適地型排水処理, 嫌気性消化, 技術評価と実装
	小貫 元治 准教授 ^[10]	下水・廃水処理システム, 環境・サステナビリティ教育
都市計画	木内 望 教授 ^[11]	都市計画, 土地利用計画, 住宅計画
	貞広 幸雄 教授 ^[12]	都市情報システム, 都市空間解析, 都市行動・計画立案支援
	出口 敦 教授 ^[4]	都市デザイン, コンパクトシティ, エリアマネジメント

教員所属: 無印 都市工学専攻 [1]水環境工学研究センター [2]環境安全研究センター [3]未来ビジョン研究センター [4]新領域創成科学研究科環境学研究室社会文化環境学専攻 [5]先端科学技術研究センター [6]生産技術研究所 [7]不動産イノベーション研究センター [8]総括プロジェクト機構 [9]国立研究開発法人国立環境研究所地域環境研究センター [10]新領域創成科学研究科環境学研究室国際協力学専攻 [11]国土交通省国土技術政策総合研究所住宅研究部 [12]情報学環・学際情報学府

入学試験日程，必要な環境，携行品

(1) 入学試験日程は以下のとおりである。

課程	試験科目		日 時	試験場所
修士課程	専 門 科 目	(C) 計画・設計・論文	8月26日(月) 9:30～12:00	試験室は，8月23日までに都市工学専攻 Web サイトに掲示する。
		(B) 都市工学専門	8月26日(月) 14:00～16:30	
	口 述 試 験		8月30日(金)	Zoom 等を用いたオンラインでの双方向ビデオ通信方式で行う。接続時間及び URL は後日受験者に通知する。
博士後期課程	専 門 科 目	(B) 都市工学専門	8月26日(月) 14:00～15:00	試験室は，8月23日までに都市工学専攻 Web サイトに掲示する。
		口 述 試 験		8月29日(木)

(2) 口述試験のため，必ず受験者全員がオンライン受験の環境(自宅の自室等受験者以外の者が立ち入ることのない静かな明るい部屋，光回線などのネットワーク環境，カメラ・マイク付きパソコン等)を整えておくことが求められる。詳細は後日受験者に通知する。

(3) 試験室への携行品は以下の通り。

- 1) 受験票 (オンライン交付された受験票を紙に印刷したもの)
- 2) 黒色鉛筆(またはシャープペンシル)，消しゴム，鉛筆削り(卓上式は不可)，時計(計時機能だけのもの)
- 3) (C)計画・設計・論文の試験においては，以下も持参すること。
 - a) 【C-1を受験する者】 定規(目盛付き)
 - b) 【C-2・C-3を受験する者】 色鉛筆，定規(目盛付き)
 - 色鉛筆の他にフェルトペン(水性ペン，サインペン)を使用しても良い。インクを使用する製図ペンや絵具の使用は認めない。
 - 定規について，三角定規と三角スケールは使用しても良いが，テンプレートと T 定規の使用は認めない。
- 4) 携帯電話等の電子機器類は，試験室入室前にアラームの設定を解除した上で電源を切り，カバン等に入れ，身につけないこと。携帯電話等を時計として使用することは認めない。
- 5) (C)計画・設計・論文の解答に用いる電卓は貸与するので持参しないこと。

(4) 状況により，上記に記述した試験方式等を変更する可能性もあるため，後日，都市工学専攻 Web サイトで公開する補足情報に注意すること。

都市工学専攻 受験申告票
Questionnaire Sheet [Master's Course]

下記の所定欄に記入し該当する項目にチェックを入れること。チェックされていない場合は、出身学科等を考慮して本専攻で専攻分野等を指定することがある。

ふりがな	
修士課程受験者氏名 Name: Surname, first name	
専攻分野 Major field of study	<input type="checkbox"/> 都市環境工学 Urban Environmental Engineering <input type="checkbox"/> 都市計画 Urban Planning
入学希望時期 Desired enrollment term	<input type="checkbox"/> 2024年10月入学 October, 2024 <input type="checkbox"/> 2025年4月入学 April, 2025 <small>(入学願書に記入した内容と必ず一致させること。 The term stated above must be in accordance with the term stated in the application form.)</small>

修士課程における研究計画について Research plan

研究テーマ, 目的, 方法を下の空欄に簡潔に記述しなさい(複数ページにまたがることは認めない)。

Briefly describe your research topic, objectives and methodology in the space below (not allowed to span multiple pages).

都市工学専攻 受験申告票
Questionnaire Sheet [Doctoral Course]

下記の所定欄に記入し、該当する項目にチェックを入れること。チェックされていない場合は出身専攻等を考慮して本専攻で専攻分野等を指定することがある。また、下記の指示通り、次のページから研究業績・研究計画を執筆し、全7ページ以内の単一のファイルとすること。

ふりがな	
博士後期課程受験者氏名 Name: Surname, first name	
専攻分野 Major field of study	<input type="checkbox"/> 都市環境工学 Urban Environmental Engineering <input type="checkbox"/> 都市計画 Urban Planning
入学希望時期 Desired enrollment term	<input type="checkbox"/> 2024年10月入学 October, 2024 <input type="checkbox"/> 2025年4月入学 April, 2025 <small>(入学願書に記入した内容と必ず一致させること。 The term stated above must be in accordance with the term stated in the application form.)</small>
希望指導教員(複数可) Name(s) of desired supervisors	

研究業績・研究計画について Previous research achievements and research plan

次のページから、研究業績書(4ページ以内)と研究計画書(2ページ以内)を作成しなさい。

- 研究業績書(様式自由): あなたが過去に行った研究(修士研究を含む)の概要を記述しなさい。
- 研究計画書(様式自由): 博士後期課程に入った場合に行おうとしている研究について、以下の事項を記述しなさい。
 - (1) 研究目的を、どのような問題意識で何をどこまで明らかにしようとしているのかがわかるように、具体的に記述せよ。
 - (2) その研究に関連する主要な既往研究(自分以外による)をレビューし、自分の研究の位置づけを明確に記述せよ。また、その研究課題について自分自身でこれまで研究を行っていれば、その経過(成果を含む)や準備状況等についても説明せよ。
 - (3) 研究目的を達成するための研究計画・方法を記述せよ。
 - (4) その研究の独自性、重要性がどこにあるかを記述せよ。

On the next page, describe your previous research achievements (no more than 4 pages) and your research plan (no more than 2 pages).

- Previous research achievements (any format is acceptable): Describe your past research experience including your master's thesis.
- Research plan (any format is acceptable): Describe the following items regarding your proposed research during the doctoral program.
 - (1) Research objectives, clarifying what you think the major problem is, and to what extent it will be solved through your research.
 - (2) Literature review of the most important studies (by other researchers) related to your research subject. If you have already conducted research on the subject, explain its progress, including major results, as well as the state of preparation for your proposed research plan.
 - (3) Research plan and methodology to achieve your research objectives.
 - (4) Originality and importance of your research.

令和7(2025)年度 東京大学大学院工学系研究科入学試験受験者心得

1. 試験日

令和 6(2024)年 8 月 26 日(月)～8 月 30 日(金)

(各科目等の試験時間・場所の詳細は、志望専攻の「専攻入試案内」を参照してください。)

2. 試験場

東京大学大学院工学系研究科(東京都文京区本郷 7-3-1)試験場案内図参照

- (1)各自が受験すべき科目の試験室については、令和 6(2024)年 8 月 23 日(金)午前 10 時までに工学系研究科 Web サイト及び各専攻 Web サイトに掲示するので、予め試験室を確認してください。
- (2)受験者は、試験開始時刻の 20 分前までに所定の試験室に入室してください。なお、専門科目(専門学術)試験については、専攻において別に指示することがあります。
- (3)試験室では、机の上に貼付してある受験番号が、受験票のものと同一であることを確認して、着席してください。
- (4)試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

3. 試験当日に持参するもの

- (1)受験票(試験当日に受験票を持参し忘れた場合は、試験室に行き、監督者に申し出てください。)
- (2)黒色鉛筆(又はシャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り(卓上式は不可)、シャープペンシルの芯、時計(計時機能だけのもの)。
- (3)専門科目(専門学術)試験の携行品については、専攻において別に指示することがあります。
- (4)その他、受験票交付時に指示するもの。

4. 一般教育科目(一般学術)試験時の留意事項

- (1)監督者の指示に従ってください。
- (2)試験の際、不正行為を行わないでください。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室が命じられ、それ以後の受験はできません。また、受験した入学試験のすべての科目の成績を無効とします。

① 次のことをすると警告なく直ちに不正行為となります。

- a. 試験時間中に、携帯電話やスマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダ等の電子機器類や電卓・定規・分度器・コンパス等の補助具を使用すること。
- b. 受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入(受験票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど)をすること。
- c. カンニング(カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。
- d. 他の受験者に答えを教えること、カンニングの手助けをすること。
- e. 試験時間中に、問題用紙を試験室から持ち出すこと。
- f. 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- g. 「解答をはじめてください。」の指示の前に、問題冊子を開くこと、解答を始めること。
- h. 「解答をやめてください。」の指示に従わず、筆記具や消しゴムを置かないこと。

② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。不正行為になった場合の取扱いは、上記①と同様です。

- a. 試験時間中に、携帯電話やスマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダ等の電子機器類や電卓・定規・分度器・コンパス等の補助具をかばん等にしまわず、机等に置くこと、身に付けていること及び手に持っていること。
- b. 試験時間中に携帯電話やスマートフォン、時計等の音(着信・アラーム・振動音など)を長時間

鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

- c. 机等に何かを書き付けること。
 - d. 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
 - e. 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - f. 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
 - g. その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- (3) 試験時間中の退室は、解答を終えた場合でも、また、試験を放棄する場合でも認めません。
- (4) 試験時間中、受験票を常に机上に置いてください。
- (5) 解答用紙及び問題冊子は、持ち帰らないでください。
- (6) 監督者の指示があるまで退室しないでください。
- (7) マスクについては、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とします。

5. 博士課程第2次試験

博士課程第2次試験は、原則として令和7(2025)年1月中旬から2月上旬とし、期日・場所は追って通知します。

6. その他

- (1) 合格者は、令和6(2024)年9月5日(木)午後4時頃、本研究科Webサイトに掲示します。
(<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/soe/admission/general-fee?hsLang=ja>)
- (2) 電話、FAX、メール等による合否の照会には応じません。
- (3) 出願以後において、メールアドレス、電話番号等連絡先に変更が生じた場合には、速やかに届け出てください。**
- (4) 問合せ先：東京大学大学院工学系研究科学務課大学院チーム
電話 03-5841-7747、6038
※質問や問い合わせは、緊急の場合を除き、本研究科Webサイトにある「お問い合わせ窓口—入試関係(大学院)」からお問い合わせください。
<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/contact>

Notice for Examination ~The 2025 Master's / Doctoral Program Graduate School of Engineering, the University of Tokyo~

1. Examination Dates

Examinations will be held from August 26 (Monday) through August 30 (Friday), 2024.
(For details on times and location of the examination subjects, refer to the “Guide to Entrance Examination” of the department you are applying for.)

2. Examination Location

Refer to the “Campus Map for the Examination” [see the attached paper].

(1) The actual place of the examination subjects for applicants will be posted on the School of Engineering website and each department website by 10:00 a.m. on August 23 (Friday), 2024.

Confirm the specified place for the examination subjects beforehand.

(2) Applicants should arrive at the specified place for the examination subjects 20 minutes prior to the scheduled examination time.

For the examination of specialized subjects (専門科目(専門学術)), also refer to notifications from the department you are applying for.

(3) Confirm that the number on your desk is the same as your examinee number and take your seat at that desk.

(4) If you are late for the examination, you will still be allowed to take the examination if it is less than 30 minutes after the start of the examination.

3. Items to Bring

(1) Examination admission card. (*If you forget to bring it on the examination day, go to the examination venue and tell the supervisor about it.)

(2) Black pencils (or black mechanical pencils), an eraser, a pencil sharpener (a desktop type is not allowed), mechanical pencil leads, a watch (watches with functions other than time measurement are not allowed).

(3) For other items to bring for the examination of specialized subjects (専門科目(専門学術)), refer to notifications from the department you are applying for.

(4) Other items as instructed at the time the Examination admission card is issued.

4. Notice during Examination of Regular Education Subjects (一般教育科目(一般学術))

(1) Follow the instructions from the proctor during the examination.

(2) Do not do academic misconduct on the exam. If you do so, you will be ordered to stop the exam and leave the room and you will not be able to continue it. Also, all the exam you have taken will be invalid.

① The following actions will be immediately considered as misconduct behavior without warning.

- a. Using your electronic devices such as cellphone/smartphone, smart watch, electric dictionary and IC recorder or stationary goods such as calculator, ruler, protractor and compasses during the examination.
- b. Deliberately falsifying any data on your examination admission card or answer sheet (such as using someone else's photo on the examination admission card, writing someone else's examination admission number, etc.)
- c. Cheating by using scribe papers or reference books, stealing a glance at an answer sheet of others and being taught an answer by others.
- d. Teaching answers to other test takers or asking others to help cheat.
- e. Bring your problem booklet outside from your examination room during the exam.
- f. Bring your answer sheet outside from your examination room.
- g. Open your problem booklet or start answering a problem before hearing the instruction of “Exam begin.”
- h. Not putting down writing instruments and erasers after hearing “Exam end.”

② Beside the descriptions ①, the following will also be considered as misconduct behavior.

In that case, we handle the case the same as ①.

- a. During the exam, putting your electronic devices such as cellphone/smartphone, smart watch, electronic dictionary and IC recorder or stationary goods such as calculator, ruler, protractor and compasses on the desk, with you or holding it in your hand, instead of putting them away in your bag.
- b. Any actions to interrupt the exam, such as ringing a cellphone, smartphone or watch for a long time,

etc.

- c. Intentionally marking something on the desk etc.
- d. Regarding the exam, any false behavior to benefit yourself or other test takers.
- e. Disrupting other test takers at the exam venue.
- f. Not following the exam proctor's instructions at the exam venue.
- g. Any other acts that may impair the fairness of the exam.

- (3) You cannot leave the examination room throughout the examination.
- (4) The Examination admission card must be kept on your desk at all times during the examination.
- (5) Applicants cannot take home the answer sheets or the problem booklets after the examination.
- (6) Do not leave the room until instructed to do so by the proctor.
- (7) Regarding the use of masks, we respect your decision. Whether wearing masks or not depends on your judgement basically.

5. The Secondary Examination for Applicants to the Doctoral Program

The secondary examination will be held between mid-January and early February 2025.

Applicants will be advised of Examination dates and locations regarding secondary examinations for the department they are applying for later.

6. Miscellaneous

(1) The Examinee Numbers of successful applicants will be posted on the website of the School of Engineering at approximately 4 p.m. on September 5 (Thursday), 2024.

(<http://www.t.u-tokyo.ac.jp/en/soe/admission/general-fee>).

(2) The School will not accept telephone calls, fax, e-mail, and other inquiries regarding the results of the examinations.

(3) After the application process is complete, applicants must report immediately in case of change of mail address or telephone number for contact.

(4) Contact: Graduate School Team, Administrative Division, School of Engineering, the University of Tokyo.

Tel:03-5841-7747、6038

※For questions or inquiries, please contact us through the “Contact Us – Inquiries about Admission (Graduate School)” on the Graduate School of Engineering website, except in case of emergency.

<https://www.t.u-tokyo.ac.jp/contact>

試験場案内(東京大学本郷キャンパス)
 Campus Map for the Examination
 (Hongo campus, the University of Tokyo)

地下鉄利用 Subway

- ・本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線) 徒歩20分
Hongo-sanchoime Station (Subway Marunouchi Line) 20min.walk
- ・本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線) 徒歩20分
Hongo-sanchoime Station (Subway Oedo Line) 20min.walk
- ・根津駅(地下鉄千代田線) 徒歩15分
Nezu Station (Subway Chiyoda Line) 15min.walk
- ・東大前駅(地下鉄南北線) 徒歩10分
Todaimae Station (Subway Namboku Line) 10min.walk

その他のアクセスについては次を参照のこと
 Refer to the following for other accesses

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

